

---

## 解離性大動脈手術へのクリオプレシピテート製剤導入による血液製剤使用量動向に関する後方視調査研究

---

このたび、当院で輸血を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2022年6月1日から2025年5月31日までの期間に埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科で解離性大動脈瘤の手術を受けられた患者さんの一部が研究対象となります。対象かどうかはお問合せいただければお調べいたします。

#### 2. 研究の目的

研究の目的は、クリオプレシピテート製剤の院内調整開始によって血液製剤使用状況にどのような変化があったかを明らかにすることです。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1か月後

開始予定日以降研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる情報について

#### 1. 試料・情報の内容

患者さんの年齢、性別、身長、体重、疾患名、合併疾患の有無、術式名、術中出血量、手術所要時間、手術前輸血オーダー量、術当日から術後7日間の血液製剤使用量、周術期血液検査値（WBC、Hb、PLT、Fib）、術後入院期間、手術1か月後の転帰、輸血副反応の有無。

※この研究で収集した患者さんの情報は、研究責任者である石田明が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

電子カルテと輸血部門システムから情報を取得します。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植科 石田明（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

**お問い合わせについて**

ご自身の診療情報等を利用されたくない場合、あるいは質問がおありの場合は、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点ですでに研究結果として学会や論文などで公表されていた場合は、結果などを破棄することができませんので、ご了承ください。

**問い合わせ先**

埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植科 石田明

住所：350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（代） 土日祝日を除く 8時30分～17時30分

メールアドレス：[aishida@saitama-med.ac.jp](mailto:aishida@saitama-med.ac.jp)

○研究課題名：解離性大動脈手術へのクリオプレシピテート製剤導入による血液製剤使用量動向に  
関わる後方視調査研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植科 石田明